

**科学研究費助成事業 研究成果報告書**

平成 30 年 6 月 25 日現在

機関番号：12703

研究種目：新学術領域研究（研究領域提案型）

研究期間：2013～2017

課題番号：25101004

研究課題名（和文）新興国の台頭による世界／地域秩序変容と国家形成・建設の比較研究

研究課題名（英文）Comparative and Historical Studies on Emerging States, and Regional and Global Orders

研究代表者

白石 隆（Shiraishi, Takashi）

政策研究大学院大学・政策研究科・客員教授

研究者番号：40092241

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 100,360,000円

研究成果の概要（和文）：本研究の主要な成果としては(1)「新興国」の台頭に伴うアジア地域秩序の変容の実態を中国の「一帯一路」構想や東南アジア地域で進む交通インフラ整備との関連を通じて明らかにしたこと、(2)1980年代から90年代のアジアの「開発国家(developmental state)」と現在の「新興国」の開発体制との比較を通じて開発主義体制論を批判的に再検討したこと、(3)過去200年のアジア地域での国家形成プロセスを他地域との比較を通じて明らかにしたこと、の3点である。

研究成果の概要（英文）：The rise of emerging states and economies such as China, India, Indonesia, Thailand, Vietnam, Brazil and Turkey have been fast changing the distribution of wealth and power, both globally and regionally. The high economic growth of those emerging countries have also brought about enormous changes in their economic and social structures and led to the revolution of rising expectations in which people tend to take it for granted that their life would improve steadily and that their children's life would be far better than they now enjoy. How has the rise of emerging states and economies been changing the global and the regional order in Asia and what political, economic, and social challenges those states are facing domestically? This research group examines those questions both comparatively and historically and with its focus on Asia, especially Southeast Asia and China.

研究分野：東南アジア地域研究、国際関係論

キーワード：新興国 国家形成・建設 世界・地域秩序変容 開発戦略 比較研究 開発主義体制論 マクロ比較史

### 1. 研究開始当初の背景

本研究計画は、研究代表者が、科学研究費補助金による研究課題「中国の台頭と東南アジア(平成18年度から平成20年度)」を研究代表者として、「中国の台頭と東南アジア地域の政治社会的変容 国際関係、トランスナショナル、社会(平成21年度から平成23年度、研究代表者 Hau Caroline Sy)」を研究分担者として実施する中で、構想したものである。前者の研究課題では東アジア地域秩序の形成を歴史的に検討し、その構造的特徴が安全保障システムと通商システムの緊張関係にあることを明らかにした。後者では中国の台頭ともない東南アジア諸国において華人の政治経済的地位にどのような変化が起こりつつあるかを明らかにした。本研究においては、この二つの研究課題で得られた成果を大きく発展させ、中国をはじめとする「新興国」の台頭は世界・地域秩序にどのような変容をもたらしつつあるか、これらの「新興国」はなぜ、現に採用しているような国家建設戦略と開発戦略を採っているのか、またこの二つの戦略の相互作用にはどのような特徴があるのかを明らかにすべく、本研究計画を立案した。

### 2. 研究の目的

中国、インド、ブラジル、インドネシア等の「新興国」の経済的台頭によって、近年、富と力の分布は、世界的にも、地域的にも、急速に変化しつつある。歴史的に見れば、「新興国」の台頭による世界・地域秩序の変化はこれまで継起的に起こったことであり、そのことは19世紀半ばから20世紀初頭にかけてのアメリカ、ドイツ、日本の台頭、二つの世界大戦、イギリスが主導した19世紀国際システムの崩壊とパックス・アメリカナの成立、さらには第二次世界大戦後の日本とドイツの台頭、ソ連崩壊による東アジア、欧州地域秩序の変容などに見るとおりである。本研究は近年の中国をはじめとする「新興国」の台頭によって、世界と地域の秩序の変容がどのように変容しつつあるか、これを19世紀半ばから20世紀初頭にかけてのアメリカ、ドイツ、日本の台頭、第二次世界大戦後の日本、ドイツの台頭などと比較しつつ、世界システム、地域システムの観点から検討し、「新興国」の経済的台頭が、グローバル・ガバナンスに持つ意義と効果を政策領域、地域毎に明らかにすることを第一の目的とする。

本研究の第二の目的は、東アジアを中心とする元植民地の国々(post-colonial states)の国家建設・経済発展の比較分析を行うことである。こうした国家の比較分析についてはチャルマーズ・ジョンソンによる日本の開発主義体制(developmental state)の研究以来、それをモデルとした研究が実に数多く発表されている。しかし、こうした研究が開発主義体制として括る国家建設・経済発展の経験は、世界史のある一定の条件下、ある特定の

地域に成立したものであって、それをすべて開発主義体制として整理することが、どれほど意味のあることなのかについては多くの議論がある。そもそも国家形成を長期的な歴史的文脈のうえで検討しようとする国家の比較分析は、あまり実りある知的作業とは言えない。これに鑑み本研究は、チャルズ・ティリーに代表される国家形成のマクロ比較史研究と開発主義体制論の批判的検討の上に、「新興国」の国家建設戦略と開発戦略の相互作用、国軍・官僚機構・政党の勢力配置と国家建設・経済発展の関連性などを、東アジア、東南アジア、中東、アフリカ等の新興国とその予備軍となりうる開発途上国を視野に入れ、比較の観点から体系的に分析する。

これら二本の柱からなる本研究は、新興国における政治と経済の相互作用を包括的体系的に理解するための新しい研究枠組を創造しようという本領域研究全体の目的達成に大きく貢献するものである。

### 3. 研究の方法

本研究は、日本国内での定例研究会の開催と文献サーベイ、海外での現地調査、データ収集、資料・データの整理・分析、成果と進捗状況の共有・確認、成果の公開・発信を通じて遂行した。

国内定例研究会は平成25年度に4回、26年度に4回、27年度に8回、28年度に3回、29年度に3回の計22回開催した。ここでは本研究参加者が問題関心を共有し、研究の進捗に応じて研究成果を共有し検討することで、研究の進捗管理をおこない、年度毎に研究方針を再確認した。

海外現地調査は東南アジア、中東、アフリカ、北米、ヨーロッパ等で実施し、資料館等での公式・非公式文書の調査・収集、政治家、官僚、実業家、シンクタンク・大学研究者等へのインタビュー調査などをおこなった。

収集した資料・データは各研究参加者が整理・分析し、その結果は定例研究会を通じて本研究班内で共有し、計画研究の成果として随時論文や著作などの形で公開した。これに加えて、本計画研究班で得られた成果は、総括班が実施する研究会でも報告し、領域全体で共有するだけでなく、他の計画研究班、とりわけ計画研究C01との間では積極的に研究成果の共有と意見交換をおこない、そこで得られた知見やアイデアを本計画研究班の研究内容の再検討などに活用し、計画研究単独では成し得ない研究成果の達成を目指した。また、年度ごとの研究計画については総括班が開催する領域運営会議からの助言を取り入れ、適宜見直しをおこなった。

### 4. 研究成果

本研究は、中国、インド、インドネシア、タイ、ベトナム、ブラジル、トルコ等の「新興国」の台頭に伴い、世界秩序、地域秩序が

いかに変容しつつあるか、また、高成長に伴って社会経済構造が急速に変化し、生活水準改善について期待が膨らむ中、「新興国」はどのような政治・経済・社会課題に直面しているか、この二つの大きな問題について、マクロ比較史的観点から「新興国」の国家形成・経済発展、国際秩序、特にアジアの地域秩序の形成を分析することを目的とした。

本研究の成果としてはまず、領域の全体成果として出版予定の英文叢書4巻の編集に本研究班から3名が参加し、7名が「新興国」の台頭に伴うアジア地域秩序の変容、開発主義体制の再検討、国家形成の比較分析等に関わる論考を寄稿していることが挙げられる。

次に、1980-90年代、「開発国家 developmental state」論との関係で大いに注目されたアジアの新興工業経済地域(NIEs:韓国、台湾、香港、シンガポール)と「新興国」の開発体制の比較、中国の「一帯一路」とアジア地域秩序の変容、新興国研究と地域研究の架橋の可能性等をテーマにセミナーや国際ワークショップを開催した。

第三にオックスフォード大学医療史研究グループと植民地国家建設の比較研究に関する国際共同研究をおこない、その成果を英文編著として出版すべく作業中である。

最後にインドネシアのユドヨノ前大統領と25時間に渉るインタビューを実施し、これも一書として英文にて出版の予定である。

#### 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計41件)

1. Darwisheh, Housam. Ruling against Revolution: The Judiciary and the Restoration of Authoritarianism in Egypt, *IDE-JETRO Middle East Review*, Vol.5, 2018, pp.1-23, 査読無.
2. ホサム, ダルウィッシュ. 「アメリカ政治とシンクタンク」, 『アジ研ワールドトレンド』, 267号、2018年、50-54頁、査読無.
3. 鬼丸武士. 「近代アジアにおける越境する革命家の「旅」と都市」, 『国際政治』, 191号、2018年、64-79頁、査読有.
4. 長田紀之. 「ビルマの首都ラングーンの脱植民地化過程に関する覚書 人口変化と華人街における土地利用の変化を中心に」, 『東京経大会誌 経済学』, 297号、2018年、83-106頁、査読無.
5. 佐藤寛. 「経済協力研究と社会開発研究」, 『アジ研ワールドトレンド』269号、46-47頁、2018年、査読無.
6. 佐藤寛. 「特集にあたって 脇役に光をあてる」, 『アジ研ワールドトレンド』, 266号、2ページ、2017年、査読無.
7. 佐藤寛. 「忘れられた戦争 イエメンの人々を襲う人道的崩壊」, 『世界』, 8月号、2017年、38頁、査読無.
8. Hau, Caroline. Did Padre Damaso Rape Pia Alba?: Reticence, Revelation, and Revolution in José Rizal's Novels, *Philippine Studies: Historiographical and Ethnographic Viewpoints*, 65.2, 2017, pp.137-199, 査読有.
9. Darwisheh, Housam. The Rise of the Kurds in the Syrian Conflict, *IDE-JETRO Report*, October, 2017, pp.1-5, 査読無.
10. Takagi, Yusuke. Policy coalitions and ambitious politicians: A case study on the Philippine social policy, *Philippine Political Science Journal*, 38, 2017, pp.28-47, 査読有.
11. 高木佐輔. 「フィリピン・ドゥテルテ政権の政治 民主化後の政治発展とエドサ連合」, 『アステイオン』, 86、2017年、45-60頁、査読無.
12. 高木佐輔. 「ドゥテルテ政権の外交政策 フィリピンにおける親アジア路線の模索と課題」, 『国際問題』, 665、2017年、20-29頁、査読無.
13. 中西嘉宏. 「ミャンマー・複雑化する『ロヒンギャ問題』の構図」, 『外交』, 45、28-31頁、2017、査読無.
14. 相沢伸広. 「ジョコウィ=インドネシア政権の国内政治とASEAN外交」, 『国際問題』, 665、30-39頁、2017年、査読無.
15. Darwisheh, Housam. Violent Extremism in the Middle East and North Africa: Revisiting Conditions and Rethinking Solutions, *Middle East Review*, Vol.4, 2017, pp.54-60, 査読有.
16. 白石隆. 「ASEAN 共同体と東南アジア」, 『治安フォーラム』, 5月号、2016年、46-55頁、査読無.
17. 佐藤寛. 「連邦制という実験の意味」, 『アジ研ワールドトレンド』, 248、2016年、34-37頁、査読無.
18. 武内進一. 「アフリカの『三選問題』ブルンジ、ルワンダ、コンゴ共和国の事例から」, 『アフリカレポート』, 54、2016年、73-84頁、査読有.
19. 武内進一. 「アフリカの土地法改革と大規模土地取引」, 『国際農林業協力』, 39.4、2016年、2-8頁、査読無.
20. 武内進一. 「ガバンスで読み解く紛争と和解」, 『外交』, 38、2016年、42-47頁、査読無.
21. Khoo Boo Teik and Onimaru, Takeshi. Introduction: A Place for Networks in Asian Studies, *Southeast Asian Studies*, Vol.5(1), 2016, pp.3-17, 査読有.
22. Onimaru, Takeshi. Shanghai Connection: The Construction and Collapse of the Comintern Network in

- East and Southeast Asia, *Southeast Asian Studies*, Vol.5(1), 2016, pp.115-133, 査読有.
23. Veerayooth Kanchoochat and Hewison, Kevin. Introduction: Understanding Thailand's Politics, *Journal of Contemporary Asia*, 46(3), 2016, pp.371-387, 査読有.
  24. Veerayooth Kanchoochat and Hewison, Kevin. Reign-seeking and the Rise of the Unelected in Thailand, *Journal of Contemporary Asia*, 46(3), 2016, pp.486-503, 査読有.
  25. 工藤年博. 「「チーム・スーチャー」内閣の始動」, 『外交』, 37, 2016年、89-95頁、査読無.
  26. 工藤年博. 「新生ミャンマー誕生へ:新政権の政策と課題」, 『東レ経営研究所経営センサー』, 180, 2016年、19-23頁、査読無.
  27. Aizawa, Nobuhiro. Accommodating youth and women in a silver democracy, *East Asian Forum Quarterly*, 8, 2016, pp.11-12, 査読有.
  28. Hau, Caroline. Tiger Mother as Ethnopreneur: Amy Chua and the Politics of Chineseness, *TRANS: Trans-Regional and National Studies of Southeast Asia*, 3.2, 2015, pp.213-237, 査読有.
  29. 中西嘉宏. 「戦略的依存からバランス志向へ ミャンマー外交と対中国関係の現在」, 『国際問題』, 7・8月合併号、2015年、38-47頁、査読無.
  30. Aizawa, Nobuhiro. Indonesia's Foreign Policy takes an Economic Turn, *East Asian Forum Quarterly*, 7.3, 2015, pp.27-28, 査読無.
  31. Darwish, Housam. Regime Survival Strategies and the Conduct of Foreign Policy in Egypt, *Middle East Review of IDE-JETRO*, 2, 2015, pp.43-64, 査読有.
  32. 佐藤寛. 「MDGs後の開発とビジネス」, 『アジア研ワールドトレンド』, 232, 2015年、12-15頁、査読無.
  33. Shiraishi, Takashi. Indonesian Technocracy in Transition: A Preliminary Analysis, *Southeast Asian Studies*, Vol.3(2), 2014, pp.255-281, 査読有.
  34. 武内進一. 「中央アフリカにおける国家の崩壊」, 『アフリカレポート』, 52, 2014年、24-33頁、査読有.
  35. 中西嘉宏. 「パリア国家の自己改革 ミャンマー外交『正常化』と米国、中国との関係」, 『国際政治』, 177, 2014年、84-97頁、査読有.
  36. 中西嘉宏. 「軍と政治的自由化 ミャンマーにおける軍事政権の『終焉』をめぐる」, 『比較政治学会年報』, 16, 2014年、183-205頁、査読有.
  37. 佐藤寛. 「倫理的貿易における消費者と企業の役割」, 『アジア研ワールドトレンド』, 223, 2014年、30-33頁、査読無.
  38. 佐藤寛. 「特集にあたって ドーハラウンドはLDCに何をもたらしたのか」, 『アジア研ワールドトレンド』, 225, 2014年、2-3頁、査読無.
  39. Hau, Caroline. Privileging Roots and Routes: Filipino Intellectuals and the Contest over Epistemic Power and Authority, *Philippine Studies*, Vol.64(1), 2014, pp.29-65, 査読有.
  40. 相沢伸広. 「「グローバル・スタディーズ」と東南アジア華僑・華人研究」, 『地域研究』, 14(1), 2014年、182-193頁、査読有.
  41. 岡本正明. 「民主化したイスラーム大国 インドネシア:安定から発展へ」, 『国際問題』, 10月号、2013年、31-44頁、査読有.
- [学会発表](計31件)
1. 武内進一. 「人口希薄地帯における土地囲い込み コンゴ民主共和国西部の事例」, 日本アフリカ学会第54回学術大会、2017年.
  2. 武内進一. 「内戦後の土地問題と国際規範 ルワンダ、ブルンジの事例から」, 2017年度国際法学会研究大会、2017年.
  3. Takeuchi, Sinichi. "African Enclosure in the Context of Land Law Reforms," African Studies Association 60<sup>th</sup> Annual Meeting, 2017.
  4. 佐藤寛. 「日本の高度経済成長期における生活改善運動の役割 - 他セクターとの関連を中心として」, 国際開発学会第28回全国大会、2017年.
  5. Sato, Hiroshi. "The role of Semi-Official Community Based Organization in Social Development," 韓国国際開発協力学会、2017年.
  6. Nakanishi, Yoshihiro. "In Search of Legitimacy: New Face of the Military under the Political Liberalization in Myanmar," International Conference on Opportunities and Challenges of Democratization in Myanmar, 2017.
  7. Aizawa, Nobuhiro. "Indonesia's new political front line of Chinese Foreign Labor," THE 4TH INTERNATIONAL CONFERENCE ON CHINESE-INDONESIAN STUDIES, 2017.
  8. Aizawa, Nobuhiro. "Chinese Foreign Labor in Indonesian Politics," International Society for the Study of Chinese Overseas, 2017.
  9. 佐藤寛. 「国際協力の現場におけるリスク管理: サプライチェーンマネジメントから学ぶ」, 国際開発学会第27回全国大会

- 会、2016年。
10. 佐藤寛. 「ユニバーサル・ヘルス・カバレッジに必要なこと:コミュニティと地域住民のエンパワメント」, 第48回アジア太平洋公衆衛生学術連合国際会議シンポジウム、2016年。
  11. Onimaru, Takeshi. “Sun Yat-sen and the Revolutionary Networks in East and Southeast Asia in the 1920s and 30s,” International Symposium on Dr. Sun Yat-sen’s International Legacy and Inspiration for the Future, 2016.
  12. Aizawa, Nobuhiro. “Politics of Chinese Labour and Investment in Indonesia,” International Conference on Beyond the National: The Regional and Transnational Trajectories of Chinese Indonesians, 2016.
  13. 高木祐輔. 「21世紀のフィリピン政治研究」, 東南アジア学会第96回研究大会、2016年。
  14. Shiraishi, Takashi. “Looking Back, Looking Ahead: Asia in the 21<sup>st</sup> Century,” International Conference of Asian Studies, 2015.
  15. Shiraishi, Takashi. “Politics of Science and Technology in Indonesia: Lessons learned from Japan,” Indonesia Science Congress, LIPI, 2015.
  16. Hau, Caroline. “Crony Capitalism, People Power, and (Anti-) Developmentalism in and beyond the Philippines: The 1986 EDSA Revolt as Event and Explanation,” SEASIA 2015, 2015.
  17. Okamoto, Masakai. “Privatization of Security in Myanmar and Indonesia,” SEASIA 2015, 2015.
  18. Onimaru, Takeshi. “The Genesis of “Surveillance State”?: State Surveillance in Colonial Singapore in 1920s and 30s,” SEASIA 2015, 2015.
  19. Aizawa, Nobuhiro. “Politics of a “Sandwich City”: Governing the multinational social multilayers in Bangkok,” SEASIA 2015, 2015.
  20. Veerayooth Kanchoochat. “Capacity Without Priority? Thailand’s Technocratic Prorotization and Developmental Path,” SEASIA 2015, 2015.
  21. Takagi, Yusuke. “Liberalization of What? Revisiting the Philippine “Liberalization Policy in the 1960s,” SEASIA 2015, 2015.
  22. 武内進一. 「政治経済の視点から自然と人の共生を考える」, 日本アフリカ学会第52回学術大会、2015年。
  23. 武内進一. 「アフリカの国境は紛争の主因か?」, 地域研究コンソーシアム年次集会、2015年。
  24. 佐藤寛. 「生活改善と日本の社会開発」, 国際開発学会、2015年。
  25. Takeuchi, Shinichi. “Tracing Back Land Policies in Africa: Resource Management and Territorial Control,” 2015 World Bank Conference on Land and Poverty, 2015.
  26. Okamoto, Masaaki. “Who Are the Local Heads Sociologically in Java, Indonesia?” International Symposium on Comparative Study of Local Government Survey in Southeast Asia: Comparison Among Thailand, the Philippines and Indonesia, 2014.
  27. Aizawa, Nobuhiro. “Japan and Southeast Asia,” German Marshall Fund of the United States Public Workshop on Japan’s Democratic Alliances, 2014.
  28. Veerayooth Kanchoochat. “An Alternative Approach to Thailand’s Political Economy,” 12<sup>th</sup> International Conference on Thai Studies, 2014.
  29. Takeuchi, Shinichi. “Land Conflicts and the State in Rwanda and Burundi,” 56<sup>th</sup> Annual Meeting of African Studies Association, 2013.
  30. 工藤晶人. 「地中海の近代を再考する アルジェリアとフランスの重なりあう歴史」, 史学会第111回大会、2013年。
  31. 相沢伸広. 「タイ: 試練に立つ政党政治」, 第90回東南アジア学会研究大会、2013年。
- 〔図書〕(計14件)
1. Hau, Caroline. *Elites and Ilustrados in Philippine Culture*, Ateneo de Manila University Press, 2017, 398pp.
  2. Veerayooth Kanchoochat and Hewison, Kevin (eds.). *Military, Monarchy and Repression: Assessing Thailand’s Authoritarian Turn*, Routledge, 2017, 172pp.
  3. 武内進一編著. 『現代アフリカの土地と権力』, 日本貿易振興機構・アジア経済研究所、2017年、315頁。
  4. 長田紀之. 『胎動する国境 英領ビルマの移民問題と都市統治』, 山川出版、2016年、264頁。
  5. 白石隆. 『海洋アジア vs 大陸アジア 日本の国家戦略を考える』, ミネルヴァ書房、2016年、275頁。
  6. Takagi, Yusuke. *Central Banking as State Building: Policymakers and Their Nationalism in the Philippines, 1933-1964*, NUS Press and Kyoto

- University Press, 2016, 214pp.
7. 武内進一編著. 『アフリカ土地政策史』、日本貿易振興機構・アジア経済研究所、2015年、275頁.
  8. 佐藤寛ほか編. 『開発社会学を学ぶための60冊』、明石書店、2015年、243頁.
  9. 岡本正明. 『暴力と適応の政治学 インドネシア民主化と地方政治の安定』、京都大学学術出版会、2015年、302頁.
  10. Hau, Caroline. *The Chinese Question: Ethnicity, Nation and region in and beyond the Philippines*, Ateneo de Manila University Press, NUS press, and Kyoto University Press, 2014, 379pp.
  11. Khoo Boo Teik, Vedi Hadiz, and Yoshihiro Nakanishi (eds.). *Between Dissent and Power: The Transformation of Islamic Politics in the Middle East and Asia*, Palgrave, 2014, 282pp.
  12. Keijiro Otsuka and Takashi Shiraishi (eds.). *State Building and Development*, Routledge, 2014, 248pp.
  13. 鬼丸武士. 『上海「ヌーラン事件」の間：戦間期アジアにおける地下活動のネットワークとイギリス政治情報警察』、書籍工房早山、2014年、257頁.
  14. Takashi Shiraishi and Takaaki Kojima (eds.). *ASEAN-Japan Relations*, Institute for Southeast Asian Studies, 2013, 294pp.

〔その他〕

1. 新学術領域研究「新興国の政治と経済」計画研究白石班ウェブページ  
[http://www3.grips.ac.jp/~esp/group/group\\_c/](http://www3.grips.ac.jp/~esp/group/group_c/)

6. 研究組織

(1) 研究代表者

白石 隆 (Shiraishi Takashi)  
政策研究大学院大学・政策研究科・客員教授  
研究者番号：40092241

(2) 研究分担者

佐藤 寛 (Sato Hiroshi)  
独立行政法人日本貿易振興機構アジア経済研究所・新領域研究センター・上席主任調査研究員  
研究者番号：50403613

武内 進一 (Takeuchi Shinichi)  
東京外国語大学・現代アフリカ地域研究センター・教授  
研究者番号：60450459

ハウ キャロライン (Hau Caroline Sy)  
京都大学・東南アジア地域研究研究所・教

授  
研究者番号：70314268

工藤 年博 (Kudo Toshihiro)  
政策研究大学院大学・政策研究科・教授  
研究者番号：30450498

鬼丸 武士 (Onimaru Takeshi)  
九州大学・比較社会文化研究院・准教授  
研究者番号：80402824

高木 佑輔 (Takagi Yusuke)  
政策研究大学院大学・政策研究科・助教授  
研究者番号：80741462

カンチューチャット ヴェラユース  
(Kanchoochat Veerayooth)  
政策研究大学院大学・政策研究科・准教授  
研究者番号：80715631

長田 紀之 (Osada Noriyuki)  
独立行政法人日本貿易振興機構アジア経済研究所・地域研究センター動向分析研究グループ・研究員  
研究者番号：70717925

スリヨメンゴロ ジャファール  
(Suryomenggolo Jafar)  
政策研究大学院大学・政策研究科・助教授  
研究者番号：40600440

相沢 伸広 (Aizawa Nobuhiro)  
九州大学・比較社会文化研究院・准教授  
研究者番号：10432080

ホサム ダルウィッシュ  
(Housam Darwisheh)  
独立行政法人日本貿易振興機構アジア経済研究所・地域研究センター中東研究グループ・研究員  
研究者番号：60615235

中西 嘉宏 (Nakanishi Yoshihiro)  
京都大学・東南アジア地域研究研究所・准教授  
研究者番号：80452366

岡本 正明 (Okamoto Masaaki)  
京都大学・東南アジア地域研究研究所・教授  
研究者番号：90372549

工藤 晶人 (Kudo Akihito)  
学習院女子大学・国際文化交流学部・准教授  
研究者番号：40513156